



令和6年(2024年)3月14日 公表
 令和5年版 山口県日本海側重要魚種の資源評価

マダイ (日本海西部・東シナ海系群)

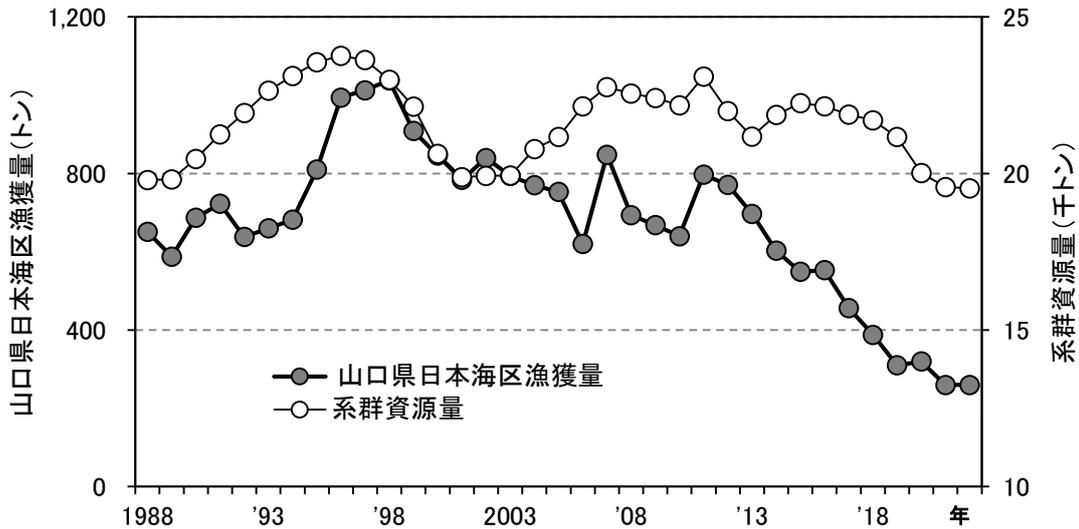


図 山口県日本海区マダイ漁獲量 (漁業・養殖業生産統計年報) 及び日本海西部・東シナ海系群マダイ資源重量 ((国研) 水産研究・教育機構資源評価報告書)の推移

【漁業】マダイは主に沖合底びき網で漁獲される。沿岸域では釣り、刺網、小型底びき網で主に漁獲される。主な漁獲サイズは24~36cm(2~3歳)である。

【漁獲量】山口県日本海区の漁獲量は、資源量の変動傾向と大きく異なり、1988年の651トンから次第に増加し、1998年には1,038トンに達した後、減少傾向に転じた。特に2012年以降に激しく減少し、2021年及び2022の漁獲量はそれぞれ260トンと過去最低となった。

【資源状態】資源量(1歳以上)は1988年以降小幅な増減を繰り返しながら、19.5千~23.8千で推移した。2007年以降はわずかに減少傾向で2022年は19.5千トンであった。

2022年の親魚量(SB)は最大持続生産量(MSY)実現する親魚量(SB_{msy}:目標管理基準値)を下回った。また、2022年の漁獲圧(F)は、MSYを実現する漁獲圧(F_{msy})を上回った。親魚量の動向は減少と判断された。

2022年漁獲量(トン)	MSY(トン)	2022年親魚量(千トン)	目標管理基準値(千トン)	限界管理基準値(千トン)	禁漁水準(千トン)
5,043	6,720	13.0	39.3	8.96	1.44

*暫定値